

## 2013年産カリフォルニア クルミ市況



7月11日にCalifornia Walnut Boardから発表された6月のカリフォルニア クルミの出荷状況は、殻付ベースで26万700トン(前年比21%増)となり、累計では45万3,400トンと前年比10%増と堅調な出荷が続いています。

殻付全体での輸出数量は、前年比27%増となり、中国の他、ベトナム、タイの出荷数量が際立って伸びています。

また、現地時間7月23日に行なわれたクルミ取扱業者の会議で、2013年産の収穫予想が49万4,000トンと発表されました。2012年産収穫量は49万5,000トンとなりますので、現時点では2012年産並みの収穫量予想となります。

2013年産は、4月に強風を伴う嵐が産地を襲ったものの、大きな被害はなかった模様で、北部産地からの情報ではハートレー種、ハワード種の生育は順調で昨年以上の収穫量が見込まれていますが、日本に多く輸入されているチャンドラー種は昨年並みとの見方が強い状況です。また、新たに植樹され収穫できるようになる木が多いと見られていた様子から、豊作を予想する農家もいましたが、昨年よりも結実率が低いとの情報や7月上旬に最高気温40℃を越える日が続いた事による収量の悪化、アンバーカラーの増加等品質面が危惧されています。

いずれにしても、収穫スタートまでは、1ヶ月半程度時間があり、収穫状況を判断するには時期尚早です。

なお、取扱業者の会議を前後して中国の一部パイヤーは、殻付のクルミ(チャンドラー種)を\$1.95/LBから買い付け始め、その後一気に\$2.10/LBまで相場が値上がりしている模様で、これを受けトルコからも一部買いが入っているとの情報もあります。

しかしながら、オープニングの価格としては大変高値であるため、現段階のオファーは限定的である事から、相場を見極めるにはもう少し時間を要する見込みです。

